



首里城下町クリニック

当科(腎臓内科・リウマチ・膠原病・生活習慣病等)における

# 処方薬の注意点

## ～とくに加齢に伴う影響について～



産業医 田名 毅  
(首里城下町クリニック)

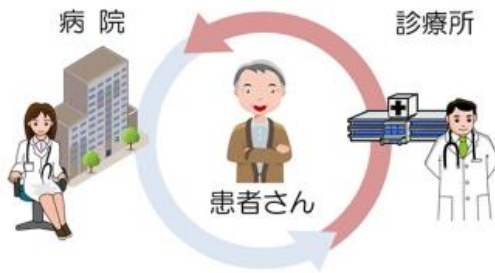
産業医だよりは、当院における地域むけ医療講演会の内容を抜粋してお伝えしています。

今月は当院の比嘉啓(あきら)医師により「腎臓内科、リウマチ・膠原病、生活習慣病等における処方薬の注意点～とくに加齢に伴う影響について～」と題した講演でした。ご講演の要旨を紹介します。

### 当院の診療内容の紹介

当院は病診連携の中では、診療所における「かかりつけ医」の役割です。診療所でも専門性をもってかかりつけ医として開業する医師も増えています。当院では、診療所ではあるものの総合病院の診療と遜色ない内容の診療を行っている科目もあります。患者さんには、病院、診療所それぞれの利点を考えて医療機関を選択されるといいと思います。

### 病診連携



総合病院=専門医療

診療所=かかりつけ医

### 首里城下町クリニックの守備範囲

専門店並みのメニューがあります。

日本医師会研修会(H27.7)

実際の病診連携では

- ・高脂血症
- ・高血圧
- ・糖尿病
- ・認知症
- ・禁煙指導
- ・健康相談
- ・在宅医療
- ・服薬管理
- ・介護保険

- ・インフルエンザをはじめとする風邪症候群
- ・頭痛、腹痛
- ・CKD(慢性腎臓病)
- ・喘息、COPD、軽症肺炎
- ・虚血性心疾患(心筋梗塞後)
- ・脳梗塞後
- ・不眠症
- ・検診での異常

その他:・リウマチ・膠原病

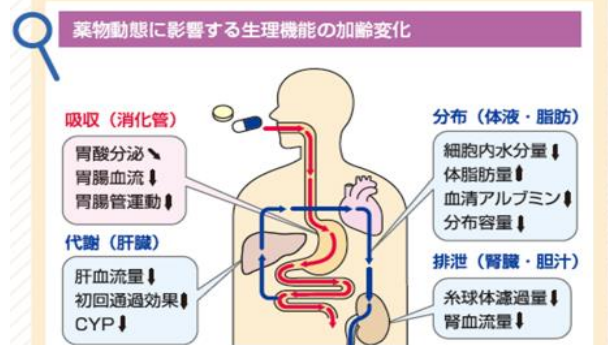
診療の現場において、私たちが全国の医師と一定レベルの診療を維持するために活用しているのが、「ガイドライン」と呼ばれるものです。独りよがりの診療に陥らずに、患者さんに最善の医療を提供するように努力するのが医療者の努めと考えます。今回は、「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015」から、重要と思われる部分を紹介します。



### 高齢者の身体の変化について

高齢者は風邪や下痢などささいなことで脱水症になりやすい特徴があります。脱水状態だと、薬の血中濃度が上がって、薬の作用や副作用が出やすくなる可能性があります。

それでは病気ごとに注意点をみていきましょう



吸収(消化管)

- 胃酸分泌↓
- 胃腸血流↓
- 胃腸管運動↓

代謝(肝臓)

- 肝血流量↓
- 初回通過効果↓
- CYP↓

分布(体液・脂肪)

- 細胞内水分量↓
- 体脂肪量↓
- 血清アルブミン↓
- 分布容量↓

排泄(腎臓・胆汁)

- 糸球体濾過量↓
- 腎血流量↓

## ① 慢性腎臓病（CKD）高齢者に限らず

### 特に慎重な投与を要する薬物リスト

★非ステロイド系消炎鎮痛剤のすべて

薬剤：ボルタレン、ロキソニン

理由：腎機能低下、胃潰瘍・出血のリスク

対策：可能な限り短期間にとどめる。

胃潰瘍予防としては、プロトンポンプインヒビター（胃薬）の併用、

★ループ利尿剤

薬剤：フロセミドなど

理由：起立性低血圧（脱水症）、腎機能低下、転倒、電解質異常

対策：脱水、腎機能、電解質モニタリング（採血）を行い、専門的なさじ加減

★アルドステロン拮抗薬（蛋白尿を抑え、腎機能悪化予防が期待される薬剤）

薬剤：スピロラクトンなど

理由：高カリウム血症

対策：カリウム制限、カリウムを含む電解質のモニタリング（採血）、カリウム排泄薬の併用

### 開始を考慮すべき薬物リスト

なし

※痛み止めを漫然と飲むと腎臓が悪くなりますので、  
ご注意ください。

## ② 関節リウマチ（高齢者の場合）

### 特に慎重な投与を要する薬物リスト

★非ステロイド系消炎鎮痛剤のすべて

薬剤：ボルタレン、ロキソニン

理由：腎機能低下、胃潰瘍・出血のリスク

対策：可能な限り短期間にとどめる。

胃潰瘍予防としては、プロトンポンプインヒビター（胃薬）の併用、

### 開始を考慮すべき薬物リスト

★抗リウマチ薬

薬剤：メトトレキサート

使用法：活動性リウマチの診断がついたとき

注意事項：高齢者では薬物有害事象や易感染性が高いため、治療開始前後で定期的なモニタリング必要。

※とくにリウマチ・膠原病など免疫を抑える薬を開始する場合にはワクチンを推奨

## ③ 膠原病 よく使用されるのがステロイドです。

ステロイドの副作用で注意が必要な点を表にまとめました。  
骨粗鬆症に注意喚起があります。

内服中の方は意識して骨塩（骨量）の検査を受けましょう。

重症なもの	モニターの仕方	対処
感染症誘発	早期発見	適正な抗菌薬の使用
骨粗鬆症	骨塩量測定、骨代謝マーカー	ビスフォスフォ製剤など
糖尿病	血糖、尿糖、HbA1c	食事療法、経口薬、インスリンなど
動脈硬化、高脂血症	血中脂質測定	食事制限、スタチン
無菌性骨壊死	MRI、単純X線	荷重の軽減、手術
精神障害	日常観察	抗精神薬、抗不安薬
消化性潰瘍	便潜血、抗潰瘍剤予防投与	胃粘膜保護薬、抗潰瘍薬
高血圧	血圧測定	塩分制限、降圧薬
副腎不全	ショック、倦怠感、好酸球増多	ステロイド補充
白内障・緑内障	定期的眼圧測定・眼科診察	眼科的治療
ステロイド筋症	筋力テスト、	ステロイド減量

### 軽症なもの

ニキビ様発疹、多毛症、満月様顔貌、食欲亢進、体重増加、月経異常、皮下出血、紫斑、多尿、多汗、不眠、浮腫、低カリウム血症

## ⑤ 高血圧

前期高齢者（65～74歳）の66%、後期高齢者（75歳～）の80%が罹患

降圧目標：前期高齢者までは原則140/90mmHg未満  
75歳以上の後期高齢者ならびに75歳未満でもフレイルの状態であれば、やや高め（150/90mmHg）に設定  
合併症（糖尿病、腎・心疾患等）あれば、個々のケースに合わせて降圧薬は非高齢者と同様だが、少ない量から開始 緩やかなスピードで降圧する

転倒リスク：おもに降圧薬開始時期に増加（ほぼすべての薬剤）

とくにαブロッカーは起立性低血圧によるめまい、動悸、失神が多い利尿剤も注意。

誤嚥性肺炎の予防：ACE阻害薬が咳反射を亢進、肺炎の予防効果  
骨粗しょう症：サイアザイド系利尿剤が、腎臓からのカルシウム再吸収を亢進するため有用。

認知症：高血圧が認知症のリスクとなる。一方認知症の人に強力に降圧薬を使用して、認知症が改善するといったデータはない。

## ⑦ 不眠症

### まとめ

高齢者 特に慎重に使うべき薬

ベンゾジアゼピン系  
睡眠薬 抗不安薬

副作用 ぶらつき・転倒 認知機能低下

かかりつけ医は、相性・利便性・混雑の度合いなどが重要視されがちですが、かかりつけ医にも各々専門性があります。患者さんの一番の問題と医師の専門性も重要な視点と言えます。100点の治療を求めると副作用を生じる危険性があります。効果・副作用、加齢などを考え、主治医と相談して治療に望みたいものです。

## ④ 骨粗鬆症

高齢者に対する

特に慎重な投与を要する薬物リスト：なし

開始を考慮すべき薬物リスト：なし

★ビスフォスフォネート：

椎体骨折・大腿骨骨折の予防として有用  
飲み方が複雑、食道粘膜障害合併の可能性  
抜歯などの際、まれながら顎骨壊死  
→予防：口腔衛生を良好に保つ  
抜歯前3か月休薬

★カルシウム・ビタミンD

カルシウムの摂取を補うのに有効  
高カルシウム血症→腎臓機能障害や動脈硬化のリスク

★抗RANKL抗体（テノスマブ＝テラリア）

半年に一度の皮下注射  
骨密度上昇効果、骨折予防効果が証明  
長期の安全性がまだ不明



## ⑥ 糖尿病 特に慎重に使うべき薬です

糖尿病 高齢者 特に慎重に使うべき薬

副作用 低血糖

スルホニル尿素薬  
インスリン製剤  
SGLT2阻害薬（併用の場合）

糖尿病 高齢者 特に慎重に使うべき薬

副作用

ビグアナイド薬 胃腸症状・筋肉痛・過呼吸  
チアゾリジン薬 骨粗しょう症 心不全  
SGLT2阻害薬 脱水 尿路・性器感染症





## 第 157 回 首里城下町クリニック 『地域むけ医療講演会』

日 時: 平成 28 年 7 月 13 日(水) 19:00~20:30

テーマ: 沖縄の長寿県復活は **ウィメンズヘルスから(女性の健康)**

医療法人 **がじまるの会 糸数病院**  
理事長 **糸数 功 先生**

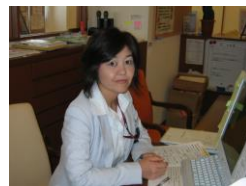
その他クリニックに関しては HP をご覧ください <http://www.shuri-jc.jp>

首里城下町クリニック 『働く人健康支援室』 は、



産業医・内科医  
高血圧が専門です  
**田名 毅**

あなたの **相談窓口** です!



保健師・産業カウンセラー  
認定産業看護師 **田名彩子**

### 相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。

- ★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。
- ★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。  
事前にお電話の上、いらしてください。
- ★クリニック内で産業医との面談は診療の合間となりますが可能です。  
事前にお電話くださり働く人健康支援室で“産業医との面談”とお声掛けください。診察や検査の必要がない限りは無料です。
- ★その他、電話やメール相談も随時行っています。



保健師・産業カウンセラー  
キャリアカウンセラー  
**興儀雅代**



看護師・衛生管理者  
糖尿病療養指導士 **新垣朋子**



認定産業看護師  
**山城愛子**



### 連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室  
098-885-5000  
携帯 070-5814-0065 (田名彩子)  
メール [saiko@biscuit.ocn.ne.jp](mailto:saiko@biscuit.ocn.ne.jp)

プライバシーは守ります。  
お気軽にご利用下さい!